

高抵抗値黒インキ

特許出願中

高抵抗値黒インキは、印刷被膜の電気抵抗値が高く、かつ隠蔽性にも優れている新しい黒色インキになります。タッチパネル製品のディスプレイ窓枠部分といった印刷被膜に高い電気抵抗値が求められる用途に対して、優れた性能を発揮します。

高抵抗値黒インキは、従来インキシリーズの新しい黒色インキであるため、インキの使用方法などについては今までのインキシリーズ同様となります。

タイプ

各種インキシリーズに準ずる

用途

高い電気抵抗値が求められる用途に適しています。

特徴

印刷被膜の電気抵抗値が $2 \times 10^{13} \Omega$ 以上、かつ隠蔽性の高い印刷物が得られます。
各種環境試験の前後で電気抵抗値に変化が見られず、高い絶縁性を維持します。

稀釈溶剤・硬化剤混合・洗浄溶剤・印刷・乾燥

各種インキシリーズに準ずる

その他

- ・電気抵抗値については、弊社で性能を保証するものではありません。事前に評価試験での性能確認をお願いします。
- ・インキシリーズによってはスタンダードと比較してポットライフが短くなる可能性がありますのでご注意ください。

参考資料 (性能表は弊社での試験値であり、性能を保証するものではありません。)

被膜性能試験表 (HAC シリーズでの性能比較)

試験項目	試験内容	試験インキ・結果	
		新製品 HAC 高抵抗値黒インキ	HAC コク 710 ブラック
初期抵抗値	印刷被膜表面の電気抵抗値を測定	$2 \times 10^{13} \Omega$ 以上	$4 \times 10^8 \Omega$
耐熱性試験	80℃の恒温槽に 500 時間放置後、 電気抵抗値を測定	$2 \times 10^{13} \Omega$ 以上	$1 \times 10^7 \Omega$
耐湿性試験	80℃×95%RH の恒温槽に 200 時間放置後、 電気抵抗値を測定	$2 \times 10^{13} \Omega$ 以上	$4 \times 10^7 \Omega$
冷熱サイクル 試験	「(-40℃×0.5hr)→(20℃×0.5hr)→ (85℃×0.5hr)→(20℃×0.5 hr)」を 1 サイクル として 20 サイクル終了後、電気抵抗値を測定	$2 \times 10^{13} \Omega$ 以上	$7 \times 10^7 \Omega$
耐候性試験	キセノンウエザオメーター 500 hr 照射後、 電気抵抗値を測定	$2 \times 10^{13} \Omega$ 以上	$3 \times 10^7 \Omega$

測定機 : SM-21E (東亜電波工業(株) 製)
電圧 : 1,000 V
端子間距離 : 1.5 cm
測定範囲 : $1 \times 10^6 \sim 2 \times 10^{13} \Omega$

試験条件

インキ : HAC 高抵抗値黒インキ/ コンク 710 ブラック
素材 : PMMA
スクリーン : テトロン 350 メッシュ
スキージ : ウレタン中硬
印刷 : 手刷り
混合比 : インキ : HAC 硬化剤 = 100 : 10
稀釈率 : 20%
乾燥 : 80℃ 30分

高抵抗値黒インキの詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。